



# 建交労



2020年1月13日  
建交労神奈川県南支部

2020年春闘No.3

2019年度推進ニュース⑭通算173号

発行責任者 佐藤 章

## 建交労神奈川県本部旗開きを開催！ 50名余が2020年の奮闘を誓い合う

建交労神奈川県本部は1月12日16:00から“かながわ労働プラザ・レストラン味彩”に於いて2020年旗開きを開催、50名余が集い2020年の要求と組織の前進をめざして奮闘することを誓い合いました。

神奈川県南支部からは、未加入者を含めて16名が参加しました（三昭運輸分会6名、内外液輸分会3名、田中製菓分会1名、扶桑運輸分会1名、三浦観光バス分会1名、合同分会3名、未加入労働者1名）。

旗開きは例年どおり高橋英晴県本部書記長の開会挨拶



旗開きの主催者挨拶をする伊藤委員長



・進行で始まり、主催者あいさつに立った伊藤東一県本部委員長は、まず国際情勢に関わって緊張が高まる中東地域に安倍政権が自衛隊派遣を強行する暴挙を批判、つづいて神奈川県本部の最重点課題として2000名組織を視野に県本部結成時の組織実勢を早期に回復することを呼びかけました。

来賓挨拶のトップに立った建交労中央本部の廣瀬肇書記長（左の写真）も安倍政権による自衛隊中東派遣に触れながら

平和を守る大切さを強調するとともに建交労を強く大きくして組織の求心力を高める決意を表明しました。

つづいて来賓挨拶に立った神奈川労連の住谷和典議長（右の写真）は県労連結成30周年（前日に30周年レセプション開催）では結成20周年に築いた組織の最高到達点回復がなかったことに触れ、組織拡大に向け未組織労働者20万人との対話活動を進めていることを紹介。また、深刻さを増



している格差と貧困の根絶や今年ニューヨークで開催される原水爆禁止世界大会へのとりくみ強化などを呼びかけました。

乾杯前最後の来賓は、日本共産党の上野たつや神奈川県議会議員（左の写真）が立ち、安倍政権の“消費税増税・桜を見る会・カジノ疑惑”などの追及で発展する野党共闘や県議会で労働委員会審問室を増やした成果などを報告しました。

（上野議員の右側には神奈川県委員会の高山労働部長）



# 乾杯のあとは歓談・来賓挨拶につづき ビール銘柄当て・支部紹介・争議団決意！

3名の来賓挨拶のあとに県本部の大島信雄副委員長（県南支部書記長）の発声で乾杯が行われ歓談に入りました。

参加者が和やかに飲食と会話を楽しむなかで、駆けつけて頂いた7名の来賓のみなさん（神奈川県建の荒井俊喜賃金対策部長、横浜合同法律事務所の杉本朗弁護士、神奈川県原水協の片野憲二理事長、首都圏交運共闘の舞弓義隆事務局長、川崎公害根絶市民運動連絡会代表の昼間忠男さん、いの健神奈川センターの鈴木信平事務局長）から次々に旗開きのお祝いと建交労県本部への激励・連帯のご挨拶をいただきました。



乾杯の音頭をとる大島信雄副委員長



ビール銘柄宛に参加した5人の代表

ビールの銘柄当てでひとしきり会場が沸いたあとは各支部の挨拶に移り、神奈川県南支部からは佐藤章委員長が代表して挨拶を行いました。佐藤委員長は、旗開きに参加している県本部組合員30数名のうち組織数約70名の県南支部から15名が参加して奮闘している一方で県南支部の深刻な組織減少に触れ今年中に三ヶタの組合員数回復をめざす決意を表明しました。そのあとダンプ支部、学童保育支部、事業団支部、鉄道本部の仲間がそれぞれの目標や決意などを報告・表明するなかで学童保育支部から参加した

来賓の挨拶につづいては、県本部所属の4支部（横浜事業団支部、神奈川ダンプ支部、川崎学童保育指導員支部、神奈川県南支部）の代表と建交労中央本部の廣瀬書記長が参加して県南支部の清野純平副委員長が進行役を務めてビールの銘柄当てゲームが行われ会場を盛り上げました。優勝は横浜事業団支部の代表者で県南支部代表の佐藤章委員長は5銘柄中1銘柄を当てただけの残念な結果に終わりました。

ビールの銘柄当てでひとしきり会場が沸いたあとは各支



県南支部の決意を語る佐藤委員長

4名（子どもさん1名を含む）の仲間は学童保育の現場で鍛えた“剣玉”の妙技を披露して参加者から大きな拍手を受けました。つづいて争議をたたかう組織の紹介があり県南支部の三昭運輸分会とダンプ支部メイショク分会の南須原さんがたたかひの現状と支援を訴

えました。三昭運輸分会は小澤副分会長が代表で決意を表明し清野分会長が1月30日の県労委が証人審問から和解協議に変更となったことを報告しました。旗開きは大島氏の挨拶、三浦執行委員の団結ガンバロウで閉会しました。



剣玉の技を披露する学童保育の仲間



争議勝利を決意する三昭運輸分会